

本荘のこども



あわら市本荘小学校

令和7年度
学校だより第41号
令和8年2月4日



今年度最後の学校公開、ありがとうございました！



先週1月30日(金)、今年度最後となる冬の学校公開を行いました。当日は、心配していた雪もさほど降ることはなく、たくさんの保護者の皆様やご家族の皆様が来校くださり、子どもたちの真剣に課題に向き合い熱心に学習に取り組む様子や、堂々と発表する姿を見ていただくことができました。また、学校公開の中で行ったなわとび大会では、寒い中、記録更新に挑む子どもたちに温かい声援を送っていただき、本当にありがとうございました。お家の方々の声援を受けて、子どもたちはいつも以上の力を発揮できたことと思います。

11月の秋の学校公開から約2か月ということで、子どもたちの成長ぶりや学習の成果を少しはご覧いただけたのではないかと思います。今年度も残すところ2か月足らずとなります。児童の確かな学力につながる授業づくりと体力づくりに向け、引き続き取り組んでまいります。



本荘のこども

あわら市本荘小学校

令和7年度
学校だより第42号
令和8年2月10日



『ピア・サポート』で、学校に思いやりの花を咲かせます！

本校がポジティブ教育に取り組み始め、2年が経とうとしています。この2年、様々な機会を捉えピア・サポート活動の実践を重ねてきました。1月30日（金）、今年度のまとめとして、保健美化委員会が中心となり『思いやりの花を咲かせよう！』～みんなで支え合う本荘っ子～というテーマで学校保健委員会を行いました。保護者の方にもご参加いただきました。

はじめに、「ピア・サポート」の「サポート」とは具体的にどのようなことを考えました。これまでに仲間にしてもらったうれしかったことを3～4人のグループで出し合い、タブレットに入力していきました。グループで出た意見を全体で共有すると、仲間にしてもらったうれしかったサポートがたくさん出てきました。次は、なぜサポートしてもらえたのかについて考えました。子どもたちからは、「友達だから」「自分のことが好きだから」「やさしいから」など、たくさんの意見が出ました。

2つの活動を通して、子どもたちは**サポートは小さくてよいこと、私たちはサポートに支えられていること、そしてピア・サポートは相手を思いやること**の3つを改めて確認しました。最後は、全員で「ピア・サポートの種」カードを記入しました。このカードには、これから取り組むピア・サポートの行動を書きました。どの「ピア・サポートの種」カードにも、温かい思いやりの行動が具体的に記されていました。



まとめ

- ①サポートは小さくていい
- ②私たちは、サポートに変えられて生きている
- ③ピアサポート
＝相手を思いやること



先週、保健美化委員会の子どもたちが、全校児童の「ピア・サポートの種」カードを学年ごとの土に埋め、ピア・サポートの木が見事、完成しました。『ピア・サポートの種は行動しないと芽が出ない』というモットー

のもと、先週は各自が決めた思いやりの行動を実践に移す1週間でした。

この取組を機に、相手を思いやることを大切にして生活することで、思いやりの花でいっぱいの本荘小学校にしていきたいと思っています。

本荘のこども



あわらし本荘小学校

令和7年度
学校だより第43号
令和8年2月13日



ピア・サポートで『思いやり』を伝え合う2月に!

先週2月5日(木)、2月の全校集会を行いました。絵画コンテストとなわとび大会の表彰のあと、本校に飛び込んだうれしい2つのニュースを紹介しました。一つ目は、日本一短い手紙コンクール「第33回一筆啓上賞」に本校の児童2名が見事、入賞したこと、二つ目は、令和7年度「明るい選挙啓発ポスター」で見事、金賞を受賞した本校の児童の作品がテレビで紹介されたことです。がんばった児童3名に、全校で大きな拍手を送りました。また、今年度最後の学校公開では、授業やなわとび大会に真剣かつ一生懸命取り組んでいる姿がたくさん見られたことを改めて伝え、大いに褒めました。

そしてその後、以下のような話をしました。

(前略) 午後からは、保健美化委員会が中心となって学校保健委員会がありました。『思いやりの花を咲かせよう』というテーマで、全校でピア・サポートについて考えましたね。「サポートって何だろう」「どうしてピア・サポートしてもらえるのだろう」ということについて、グループで考えました。そして、3つのことを学びました。その後、全校児童124名が、これからやろうと思うピア・サポートの行動、思いやりの行動を『ピア・サポートの種』カードに書きました。思いやりは、心の中で思っているだけでは相手には伝わりません。相手の気持ちを考え、相手の気持ちに気づいて、ぜひ、思いやりを言葉にしたり、行動で表したりしましょう。そして、思いやりを伝え合う2月にしてほしいと思います。最後に、一つ。毎朝、みなさんが登校すると班長さんを先頭に一列に並んで挨拶をしますね。校長先生は毎日、みなさんの「おはようございます」という挨拶に、その日のエネルギーをもらっています。そして、みなさんの顔を見ながら「今日もみんな元気に学校に来てくれてありがとう。今日一日、がんばろう。」と前向きな気持ちになっています。みなさんの毎朝の挨拶は、何気ない、小さなことかもしれませんが、校長先生はみなさんの挨拶に支えられて生活できています。先生にとってみなさんの挨拶は大きなピア・サポートになっているのです。みなさん、本当にありがとう。

本荘っ子には、がんばる力があります。仲間と協力する力も身につけています。やさしい、思いやりの心ももっています。「ピア・サポートの種」に書いた思いやりを、ぜひ行動にうつして、これからもこの本荘小学校を思いやりでいっぱい为学校にしてほしいと思います。(後略)

ピア・サポートは特別なことではありません。相手の気持ちに気づき、相手への思いやりを言葉にしたり行動に表したりしながら支え合って生きていくことで、人生をさらに豊かにしてほしいと思います。



まなんだこと

- ①サポートは思いやり
- ②わたしは、サポートの種をまいていく
- ③ピアサポート = あいてを思いやること

「おもいやり」をつたえあう2月に!

おもっているだけでは
つたわらない!

あいてのきもちにきづいて
ことばにしよう!
こうどうであらわそう!



「おもいやり」でいっぱいの
本荘小学校に!

本荘のこども

あわら市本荘小学校

令和7年度
学校だより第44号
令和8年2月27日



“福井ブローウィンズ” が子どもたちに夢と希望をプレゼント！

2月25日（水）、福井初のプロバスケットチームとして2022年に発足、1年目でB3からB2へ昇格を果たし、現在躍進を続けている“福井ブローウィンズ”が、本荘小学校にやってきました。これは「BLOWINDS PARK」という企画で、福井のこどもたちにわくわくを届けることを目的とした、福井ブローウィンズと株式会社マルハンの協同プロジェクトです。これまでも福井県内の小学校にたくさんのわくわくを詰め込んだスペシャルトラックを走らせ、バスケットボールの魅力を伝えるとともに、こどもたちに夢や希望を届けてくれています。

今回、本校の子どもたちにバスケットボールの魅力を伝えに来てくださった選手は、キャプテンの満田丈太郎選手と川島聖那選手です。最初は、3年生から6年生の児童のシュート体験を行いました。選手やスタッフからパスをもらいシュートする子どもたちは、ゴールを決めようと一生懸命です。途中、川島選手がシュートのコツを丁寧に教えてくださる場面もありました。応援にまわった1、2年生は、シュートが決まるたびに大きな拍手を送りました。続いて、選手とのミニゲームを行いました。2、3年生のバスケットボール経験者チームと5、6年生の経験者および希望者チームです。見ている子どもたちは両チームに大きな声援を送りました。川島選手と満田選手の華麗なパスやドリブル、豪快なダンクシュートに、子どもたちは大いに盛り上がりました。

最後に、両選手からは、『楽しいことをやり続けることが大切』『バランスよく食事を摂ることを心がけている』『さらに成長して福井を盛り上げたい』など、子どもたちに温かく力強いメッセージももらいました。バスケットボールにサインをいただいたり、ブローウィンズのスペシャルトラックの前で記念写真も撮っていただいたりと、思い出に残るイベントとなりました。両選手とバスケットボールを通じて楽しくふれあい、迫力あるプレーを間近で見ることができた今回の“福井ブローウィンズ”との交流。子どもたちの心に楽しい思い出として刻まれたことと思います。

自己紹介



選手入場



シュート体験



1、2年生の声援



シュートのコツを教わりました



低学年チームと対戦

高学年チームと対戦



選手からのメッセージ

ボールにサイン!



選手と記念撮影

お礼の言葉



両選手のサイン

本荘のこども

あわら市本荘小学校

令和7年度
学校だより第45号
令和8年3月3日



温かい気持ちと涙があふれた、感動の「6年生を送る会」

2月28日(土)、お家の方々をはじめ、家庭地域学校協議会の委員の皆様、見守り隊の皆様をお招きして「6年生を送る会」を開催しました。5年生が考えた今年度のテーマは『6年生 Thank you ～笑顔の花をさかせて～』です。この日のために、子どもたちは感謝の気持ちをどう形にするかを各学級で話し合い、準備と練習に熱心に取り組んできました。当日はその成果が存分に発揮され、温かい気持ちと涙があふれた感動の送る会になりました。特に5年生の活躍は素晴らしく、会の準備や運営、進行を見事に行い、6年生からの“リーダー”のバトンをしっかりと受け継ぎました。本荘っ子の温かい思いやりの気持ちがつまったすばらしい「6年生を送る会」でした。



【1年生】「歌 思い出のアルバム&プレゼント渡し」

たくさん教えてもらったり、たくさん遊んでもらったりした大好きなお兄さん、お姉さんへ、感謝の気持ちを言葉と歌で届けました。ドリーム班ごとに作った寄せ書きもプレゼントしました。

感謝



【2年生】「笑点～咲かせよう、笑顔の～花」

テレビ番組『笑点』を舞台に「あったらいいなこんな給食」をテーマに劇を披露しました。ハンドベルによる「さくら」の演奏は心に響きました。座布団の裏には素敵なメッセージが書かれていました。



【3年生】「めざせ！あこがれの6年生～3年生の全力の挑戦～」

2つのグループに分かれ、大縄の八の字跳びと切れのいいダンスを披露しました。八の字跳びでは、練習の成果を発揮し、ベスト記録を更新しました。うちの裏には「あこがれの6年生を目標に全力でがんばります」の文字が書かれていました。



【4年生】「あれ、6年生イイじゃん！～4年生 VS 6年生の運をかけたガチ対決～」

5つのゲームで対決し、どちらが『イいじゃん本荘っ子』かを競いました。6年生に挑む4年生の意気込みと、6年生のプライドをかけた真剣な表情が印象的でした。最後は『レシピ』の歌を手話を交えながら明るく歌いました。



【5年生】企画運営、「クイズ劇」

送る会のすべてを取り仕切った5年生。力を結集させ、準備と練習に取り組んだ5年生の熱意が、心のこもった温かい、感動の送る会の実現につながりました。クイズ劇や映像でも全員を大いに楽しませました。



【6年生】「劇 大きなかぶ」

6年生は、最後に感謝の気持ちを「大きなかぶ」の劇で伝えました。みんなの力を合わせてやっとの思いで抜けたのは大きなかぶではなく、6年生からの感謝の思いがこもった大きなLOVE♥でした。

